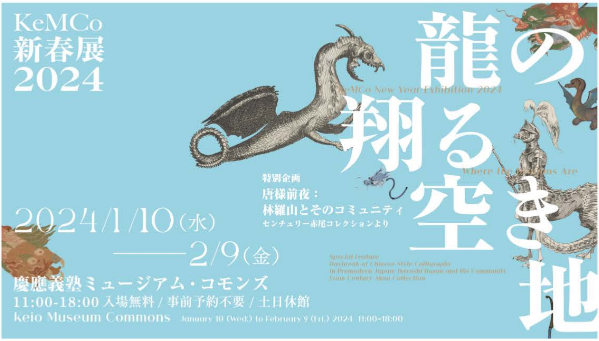
202401KeMCo

View Report

Campaign Preview　HTML Source　Plain-Text Email　Details

View this email in your browser


KeMCo
新春展
2024
龍の翔る空き地
KeMCo New Year Exhibition 2024
Where the Dragons Are
特別企画
唐様前夜：
林羅山とそのコミュニティ
センチュリー赤尾コレクションより
Special Feature
Daybreak of Chinese-Style Calligraphy
in Premodern Japan: Hayashi Razan and His Community
From Century Akao Collection
2024/1/10（水）
——2/9（金）
慶應義塾ミュージアム・コモンズ
11:00-18:00 入場無料 / 事前予約不要 / 土日休館
Keio Museum Commons
January 10 (Wed.) to February 9 (Fri.) 2024 11:00-18:00

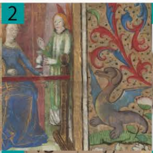
新年あけましておめでとうございます。
KeMCoでは1月10日（水）より新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地　唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ」を開催しています。一昨年の寅年、昨年の卯年から続く、干支がテーマの展覧会です。ぜひ、お出かけ先の一つに加えてください。
本年もKeMCoをどうぞよろしくお願い致します。

KeMCoの近況

【開催中】KeMCo新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地　唐様前夜：林羅山とそのコミ

ユニティ」

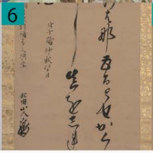
1

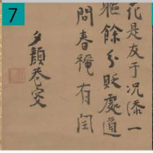

2

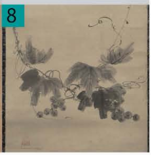
3

4

5


6


7


8

新たな年の挨拶にはどんな言葉やイメージを添えるでしょうか。お祝いの言葉、近況報告、親しい人の写真･･･「干支」も馴染み深いものです。
2024年の干支は「辰」（龍）。干支のうちで唯一の想像上の生き物です。龍は洋の東西を問わずいろいろな文物に表されてきました。自然を操る龍、秘境に潜む龍、守護する龍、あるいは戦う龍など、そのイメージはさまざまです。本展覧会では、新年の幕開けに、慶應義塾のキャンパスで文化財を巡る活動を行う部門から、「龍」にまつわる作品を集め、みなさまを個性豊かな龍の住処にご案内します。
日本の龍は中国から伝来したと考えられています。中国の文化はさまざまな時代に日本にもたらされ、独自の展開を遂げました。本展では特別企画として、江戸時代初期に新たな漢学・漢詩の担い手となった林羅山とその周辺の人々の書を展示し、文化を伝え展開させてゆく、今も昔も変わらぬ人々のコミュニティをご紹介します。

KeMCo新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地　唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ」

会期｜2024年1月10日（水）～2月9日（金）［土日休館］11：00～18：00
特別開館｜1月20日（土）、2月3日（土）
臨時休館｜1月22日（月）、2月5日（月）
会場｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
入場｜無料、事前予約不要
主催｜慶應義塾ミュージアム・コモンズ、慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫
協力｜慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾大学信濃町メディアセンター（北里記念医学図書館）、慶應義塾大学日吉メディアセンター慶應義塾大学文学部古文書室、慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻、慶應義塾福澤研究センター、慶應義塾大学三田メディアセンター、慶應義塾大学文学部民族学考古学専攻

関連イベント
「唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ」ギャラリートーク（要予約）
1月15日（月）14:00-15:00　堀川貴司（慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫 教授）

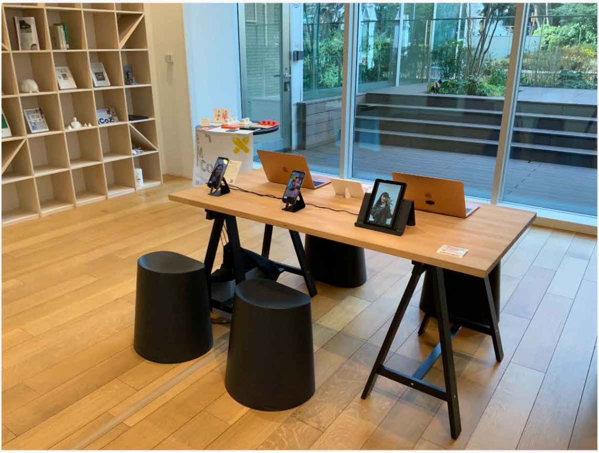
【作品】
1.詠歌大概、［藤原定家］撰、［室町中後期］写
2.ラテン語時禱書 羊皮紙零葉、1480年頃
3.刻字甲骨、商／紀元前14-11世紀
4.雲龍百足蒔絵文箱、室町時代（16世紀）

5.盤龍六花鏡、唐時代（8世紀）、慶應義塾
6.藤原惺窩筆和歌、江戸時代（17世紀）
7.林羅山筆元旦試毫、慶安元年（1648）
8.葡萄図、松花堂昭乗、江戸時代（17世紀）

1　斯道文庫
2　三田メディアセンター（慶應義塾図書館）
3　文学部民族学考古学専攻
4～8　慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）

KeMCo新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地」

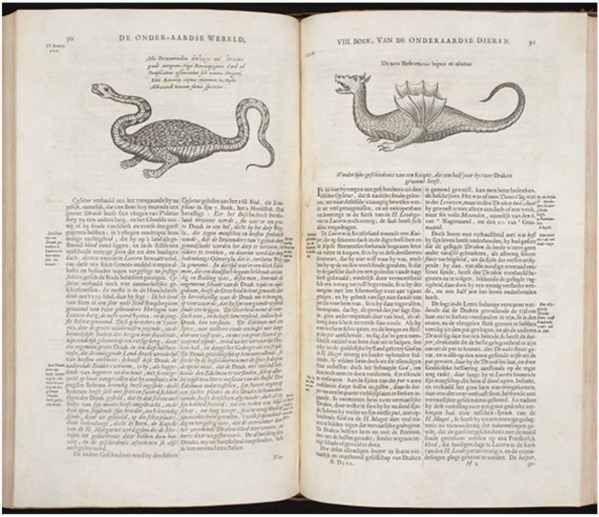
KeMCo新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地」×KeMCoMも展開中です



KeMCo新春展2024「龍の翔（かけ）る空き地　唐様前夜：林羅山とそのコミュニティ」では、学生スタッフ「KeMCoM」（けむこむ）によるデジタル×アナログ企画も展開中です。
アプリで顔認証を行って遊ぶミニゲームに、書き初めやオリジナル御朱印制作など、お正月らしい企画が目白押しです。
展覧会と合わせてお楽しみください。

展示室より、推しモノ #24

Feedback


90 DE ONDER-AARDSE WERELD,

VIII. BOEK, VAN DE ONDERAARDSE DIEREN. 91

Draco Helveticus bipes et alatus

アタナシウス・キルヒャー『地下世界』オランダ語版、1682年、三田メディアセンター（慶應義塾図書館）、荒俣宏旧蔵　博物誌コレクション

毎年1月に、干支をテーマに開催しているKeMCo新春展。今年は辰年ということで、沢山の龍がKeMCoに集っています。その中でも目を引くのが、アタナシウス・キルヒャー『地下世界』オランダ語版（1682年）です。『地下世界』は、塾員で作家の荒俣宏氏から慶應義塾に譲られた「荒俣宏旧蔵博物誌コレクション」の一つで、地球内部に関する研究書です。豊富な図版には、燃える火を中心に持つ地球とその噴出口たる火山、人面岩等々、そして地下に棲む生き物として龍が描かれています。展覧会ですべてのページをお見せできないのが残念ですが、強そうで恐ろしげな個体からふとっちょのトカゲのような個体まで、個性豊かな龍が現れています。
『地下世界』は「場所に棲む龍」というセクションに出品されています。架空の生物である龍は異境に棲むと考えられていますが、龍と紐付けられた場所を追っていくと、人々がどのようなところに異境性を見出していたのかが伝わってきます。今回の展覧会では、地下の世界、浦島太郎が訪れる龍宮城、龍が翔る富士山、福澤諭吉が見たロンドン（龍動）、そして龍にまつわる作品を多くもつ浅草寺（金龍山）が登場します。みなさんはどこに異境を感じますか？異境を感じたところがあれば、そこが龍の棲み家かもしれません。

本間 友（KeMCo専任講師）

空き地

本年のKeMCoは「龍の翔る空き地」で始まります。学内の研究所やメディアセンターから選りすぐりの、古今東西の「辰（龍）」たちがみなさまのお越しをお待ちしております。昨年のKeMCoは、元々企画していた展示やイベントに加えて異分野の研究者とのコラボ企画も加わり、学内の方々のみならず、近隣の方々、報道をご覧になった方々など、

幅広い方々にご来場いただきました。
展示物を専門家の目線だけでなく、個々人の感性、現代社会とテクノロジーが交差するところでの楽しみ方を提案する“KeMCoM”（ケムコム、学生メンバー）とスタッフとの協働によるfinal touchも、KeMCoの展示には欠かせません。展示を核としたトークセッションやイベントも毎回特別な経験を得られる場です。
4年目を迎えるKeMCoは、今年も冒険を続けて参ります。新年の龍たちにはじまり、これから1年をとおして研究者やアーティスト、キューレーターが選び持ち寄る展示物、そして彼らとKeMCoMに会いに、KeMCoという「空き地」にどうぞ寄り道をしにいらしてください。そして引き続きKeMCoをご支援くださいますようお願い申し上げます。

池谷 のぞみ（KeMCo機構長）

お知らせ

三田でご覧いただける展示

慶應義塾福澤研究センター新収資料展2024
1月10日（水）～2月10日（土）
会場｜福沢諭吉記念 慶應義塾史展示館

スペイン中世写本の楽しみー慶應義塾所蔵資料を中心にー
1月12日（金）～2月8日（木）
主催｜JSPS科研費22K00955 中世イベリア世界の多文化共生再考
協力｜三田メディアセンター展示委員会、慶應義塾図書館（三田メディアセンター）、慶應義塾日吉メディアセンター（日吉図書館）、東京外国語大学図書館
後援｜スペイン大使館、インスティトゥト・セルバンテス東京
会場｜慶應義塾図書館1階展示室

Artist Voice III: 駒井哲郎　線を刻み、線に遊ぶ
10月10日（火）～**1月26日（金）**
主催｜慶應義塾大学アート・センター
会場｜慶應義塾大学アート・スペース

WEBでご覧いただける展示

再現！番町の家 泉鏡花記念館 × Keio Exhibition RoomX
10月1日(日)～2024年3月31日(日)**（期間限定公開）**
URL｜https://kyoka.kemco.keio.ac.jp/#/
場所｜オンラインで開催します。上記URLよりお入りください。

KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回の*KeMCo Voice*は*2024*年*2*月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

Copyright © 2019-2024 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to << Test Email Address >>
why did I get this?　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan

INTUIT mailchimp